

ナス

栽培のポイント

① 早植えには注意しましょう

ナスの生育適温(昼間)は23~28℃と高温を好むので、早植えするときはマルチングやホットキャップを使って十分に温度を上げましょう。市販苗は小鉢の場合が多いので、大きめの鉢に植え替えて育苗します。

② 肥切れ、水切れに注意

多肥を好み、乾燥に弱い野菜です。肥切れしないように元肥や追肥を入念にします。葉の色・大きさ・花の形をよく観察して、栄養状態や水分の過不足を早く判断することがポイントです。樹が弱っていると感じたら、果実を若どりして負担を減らしましょう。

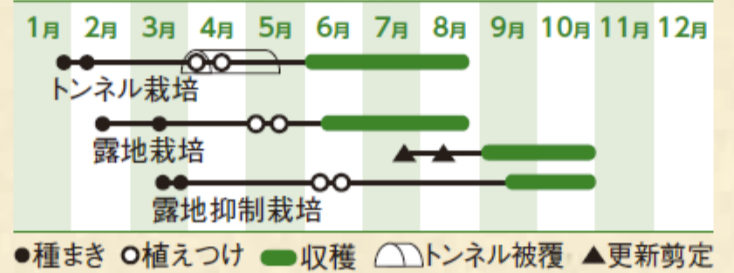
③ 日当たりが大切です

主枝と一番花の下から出る太い枝2本を残して、3本仕立てにします。葉が込み合ってきたら古い葉を摘み取り、果実に日が当たるようにしましょう。



品種例
「千両二号」「黒陽」など

栽培カレンダー



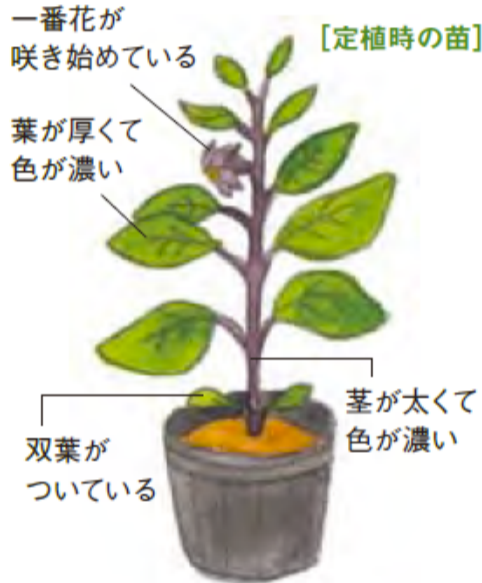
1 苗づくり

[購入苗の場合]

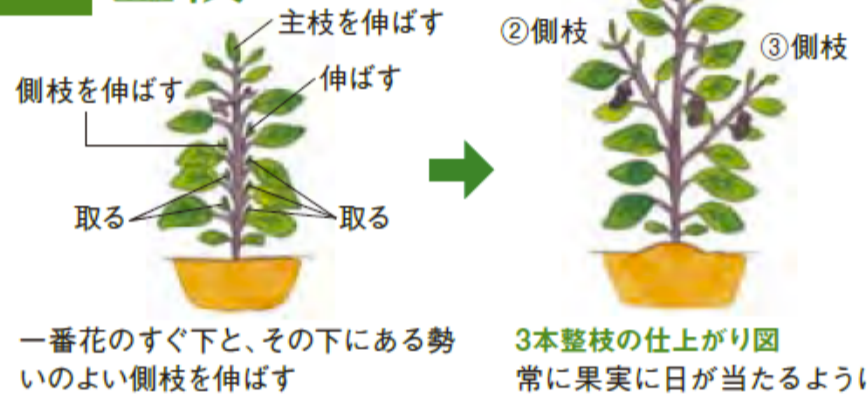
- ・小鉢の場合が多いので大きめの鉢に植え替え、再育苗する
- ・株間を十分に与えてしっかりした苗に育てる

[自家育苗する場合]

- ・土を入れたトレイに0.5~0.8cm間隔で種をまき、覆いをして28~30℃に保つ
- ・本葉1枚になったら4号鉢に植える

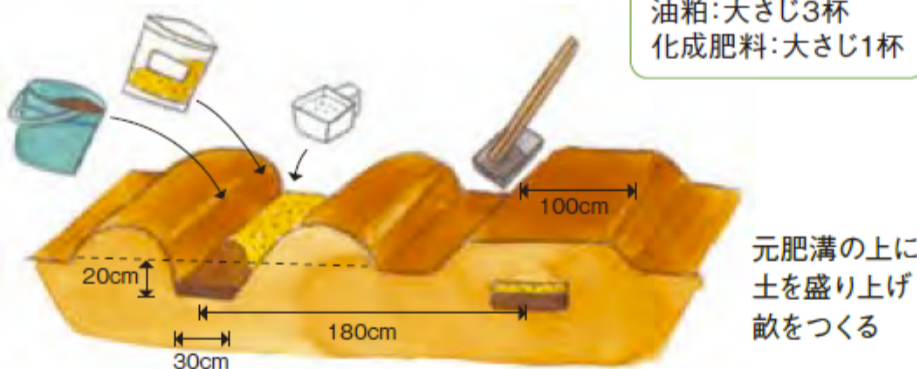


5 整枝



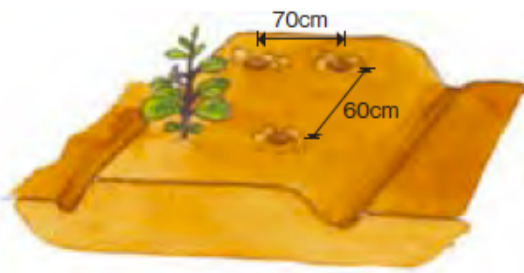
3本整枝の仕上がり図
常に果実に日が当たるように、葉が込み合ってきたら老葉を摘除して通風をよくする

2 畑の準備



3 植えつけ

- 黒色ポリマルチフィルムを使えば、地温上昇・保湿・除草に有効。肥料の流亡も防げる



4 支柱立て・誘引

- 支柱を斜めに1本立てる。草丈が30~40cmに伸びたころ、交差させてもう1本立てる

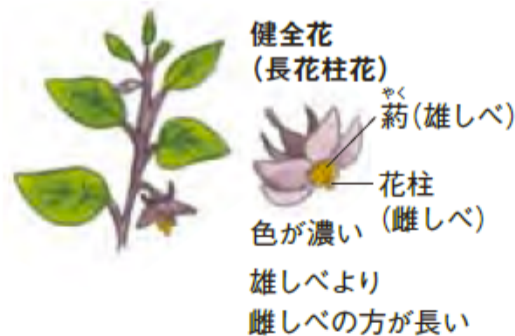
6 追肥

[第1回追肥] ※1株あたり
化成肥料:大さじ1杯
根元から約10cm離れたところに点々と。マルチのあるときは指先で穴をあけて施す。

[第2回以降の追肥] ※1株当たり
油粕:大さじ2杯、化成肥料:大さじ2杯
15~20日に1回、栄養状態を見ながら与える

<順調な育ち>

花の上方に数枚の葉がついている



<栄養不良の育ち>

花が先端の方についている



7 収穫

- 開花後15~20日くらいで収穫する



ナスは、上手に育てれば秋まで長く楽しめる野菜です。高温期の水切れと、ヨトウムシなどの害虫に注意してください。

旬彩蔵山崎 営農指導員
寺西 徹